

# 病院と保険薬局の連携に関わる取り組みについて



兵庫県立丹波医療センター 薬剤部

病院薬剤師と保険薬局の薬剤師は、患者さんのお薬に関する副作用、使用状況などの情報を共有し、外来・入院を問わずお薬での治療が安全に行なわれるよう連携を取っています(薬薬連携)。当院で行っている主なものを紹介します。

身近な例では、**お薬手帳**があります。  
使用しているお薬やアレルギー・副作用の内容を共有するために利用しています。



病院・薬局合同の**勉強会・研修会**を開催しています。  
お薬・疾患に関する知識を学んだり、業務内容の共有などを行い、連携体制の強化を目指しています。

「保険薬局から病院に対して患者さんの情報を提供するためのツール」として、令和2年11月から**トレーシングレポート**の運用を開始しました。

保険薬局の薬剤師が、患者さんとのやり取りの中で知り得た情報のうち、処方医師と共有すべきと判断したものを病院に対し報告します。当院では、病院薬剤師が内容を確認した後、医師に報告するようにしています。

※病院への報告を希望しない場合はそのことをお伝えください。



例えば...

錠剤が大きく飲みづらくて困っているが、診察の時、医師に伝え忘れていた。  
→トレーシングレポートを用いて医師に報告し、次回処方時から粉薬に変更になった



私たち病院薬剤師は、保険薬局の薬剤師と協力して安全な薬物治療の提供に努めています。入院中だけでなく、外来通院時にも継続的なサポートが行えるよう、様々な取り組みを行っています。

お薬に関してお困りのことや気になることがあれば、身近な薬剤師に相談してみてもいいかがでしょうか。

